



足立区

令和3年度 予算編成のあらまし

乗り越え、そして踏み出す。

Get over and go beyond COVID-19

あだちから

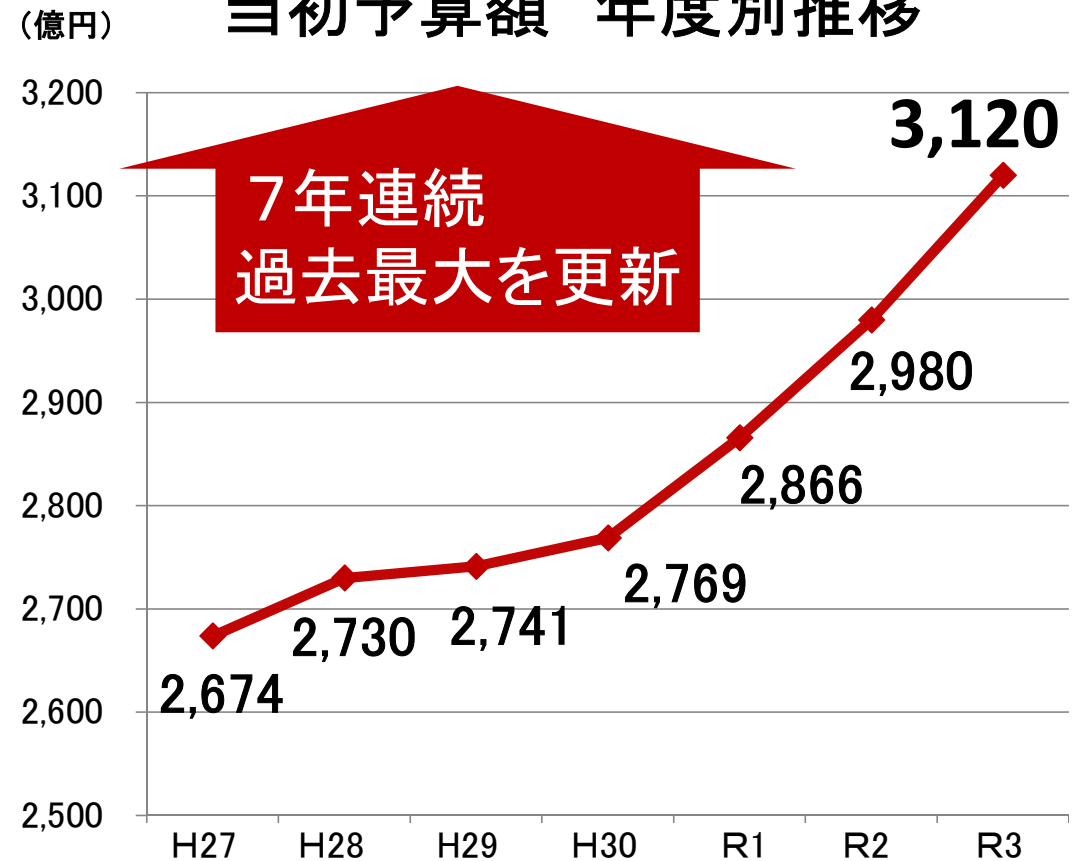
令和3年度一般会計当初予算の概要 ①

予算規模 **3,120億円**
+140億円 (+4.7%)

歳出 増額の主な要因

- 新型コロナウイルス感染症対策経費
緊急経営資金融資、生活保護給付費等 **+47億円**
- 区立小・中学校の改築事業
小学校:3校 中学校:2校 **+84億円**
- 大学病院整備補助 **+46億円**

当初予算額 年度別推移



令和3年度一般会計当初予算の概要 ②

各部予算要求額より 84億円を削減

(投資的事業)

①施設新築・改修の先送り等 ▲74億円

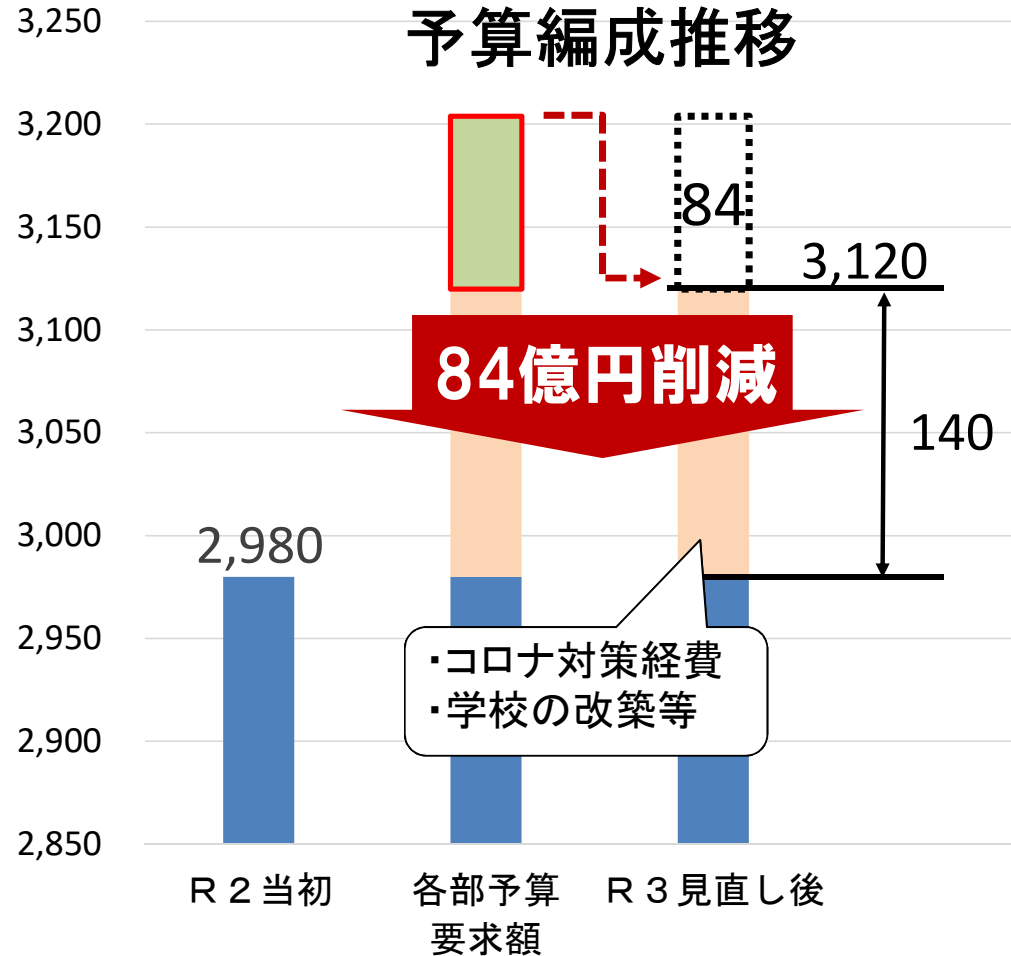
- ・駅前交通広場用地(綾瀬等)を
区→土地開発公社による先行取得に変更 ▲46億円
- ・(仮称)江北健康づくりセンター新築の先送り ▲12億円
- ・東部福祉課新築の先送り ▲4億円

など

(経常的事業)

②各部内示額より1%以上削減 ▲10億円

(億円)



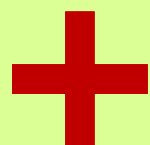
令和3年度一般会計当初予算の概要 ③

新型コロナウイルスの影響による減収

①特別区交付金 942億円

- ・企業業績悪化に伴う法人住民税の減少見込みによる減額

前年比 ▲79億円



113億円減収

↓平成23年度以来の減少↓

②特別区税 475億円

- ・区民税納税義務者の減少（約9,000人減見込）
- ・区民税収納率の悪化（R3 見込：92.55%）

前年比 ▲34億円

過去最高の繰入

減収を補うため基金を活用

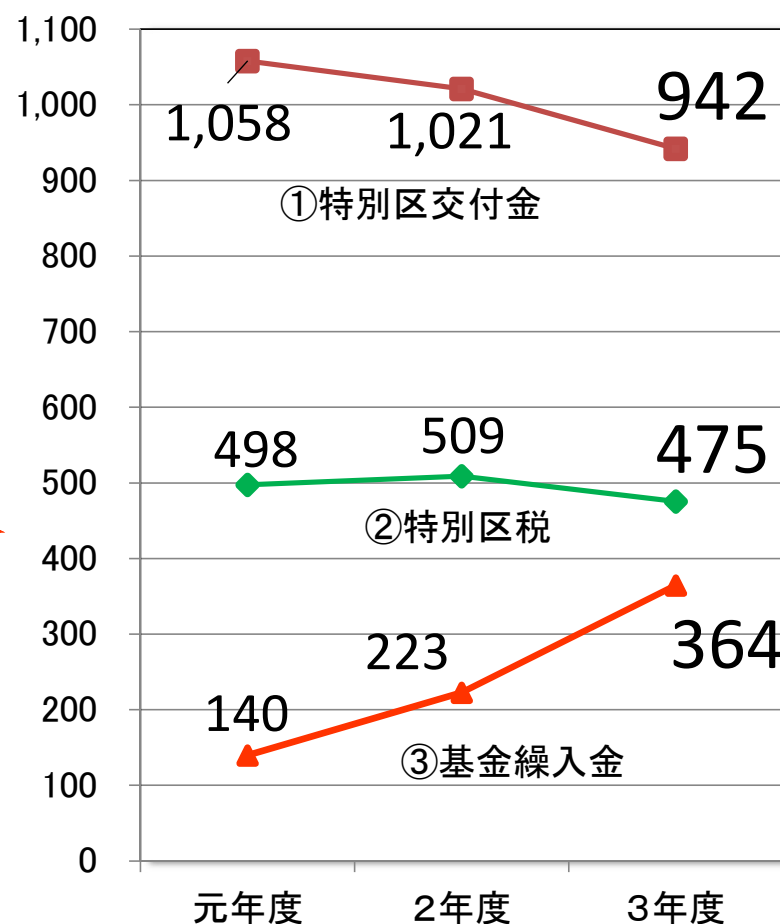
③基金からの繰入 364億円

前年比 +142億円

- ・減収分の補てんに財政調整基金 102億円
- ・義務教育施設建設等資金積立基金 98億円 ほか

（億円）

歳入 年度別推移

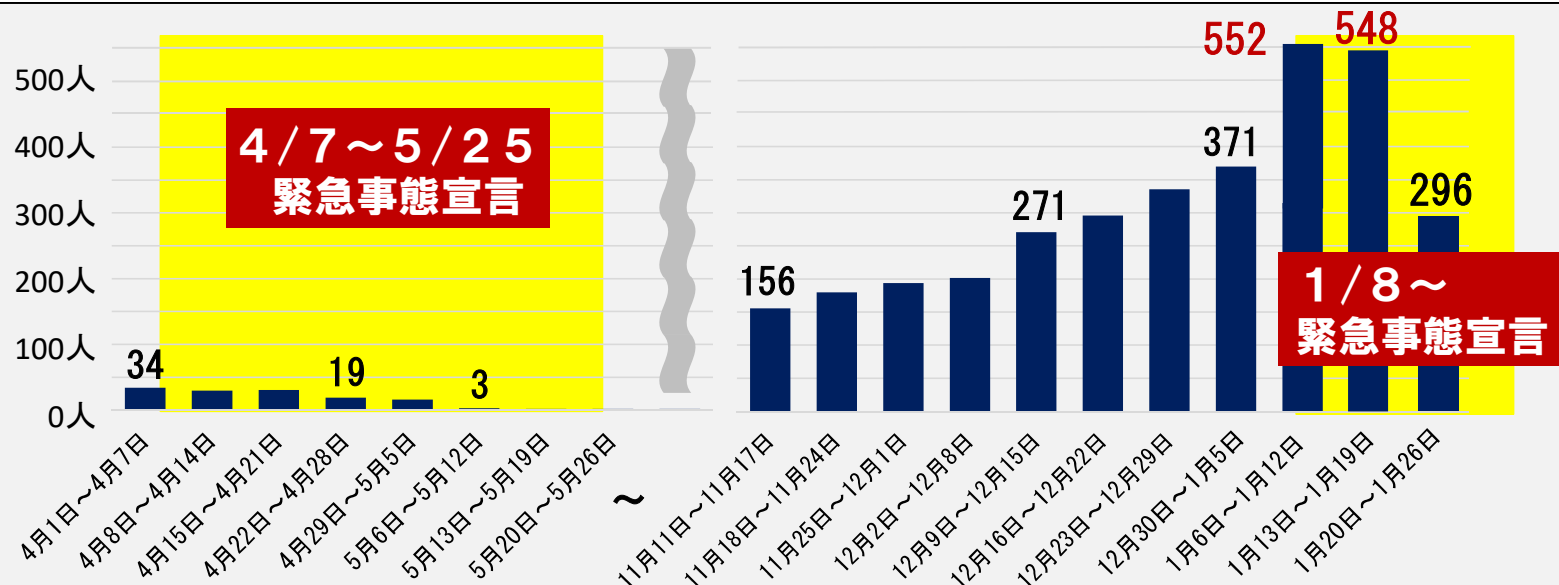


1

新型コロナウイルス対策

- 区内の新型コロナウイルス感染患者数の推移
- 新型コロナウイルス対策は継続して実施
- 4月スタート！ 新型コロナウイルスワクチン接種

区内の新型コロナウイルス感染患者数の推移（週別）



令和3年1月1日以降の感染者数

1,695名

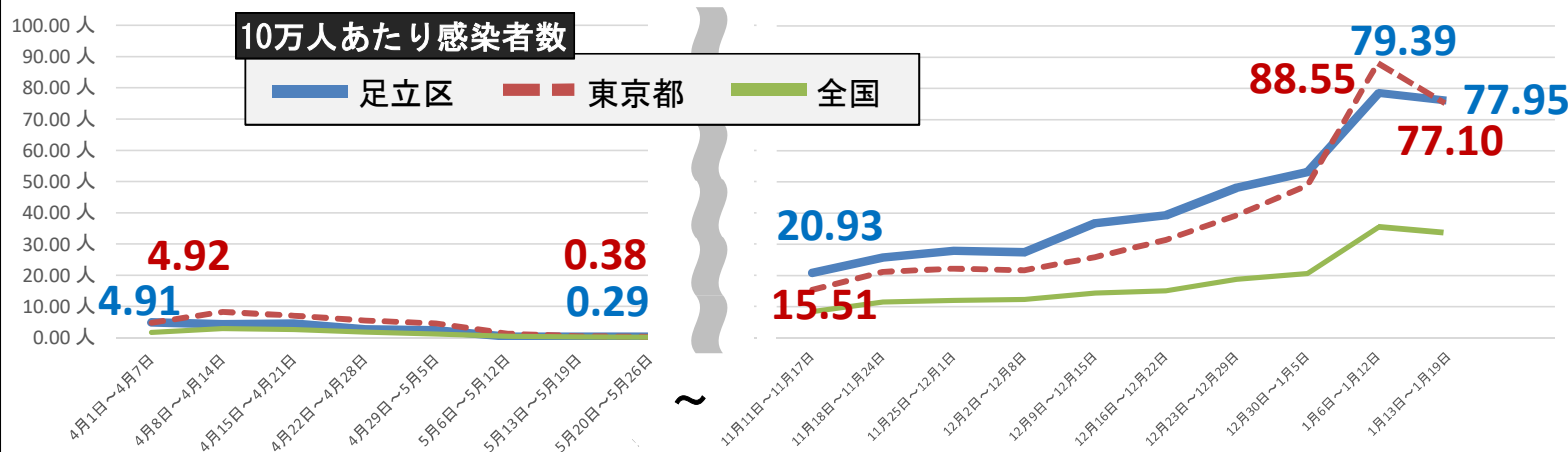
累計4,962名の

34%

1月28日現在

緊急事態宣言発出を受けた区の対応

- 「成人の日の集い」
会場開催中止（1/11）
↓オンラインで開催
- 還、免除等
- 保育所等における保育料返
- 学校施設の貸出の中止
- 公務における会食の禁止
- 施設使用料の一部還付
- 制限
- 地域・文化施設などの利用を



コロナ
対策

新型コロナウイルス対策は継続して実施

感染症対策の3本柱！

柱1 相談体制の確保 【80,157千円】

- ① 発熱電話相談
センター人材派遣
72,705千円

看護職**10名**を雇用
(平日、1日7時間45分)

- ② 医師会への
電話相談業務委託
7,452千円

医師会の会員医療機関からの
相談内容を保健所に報告
する医師等を配置
(平日、1日6時間)

柱2 検査体制の充実【270,758千円】

- ① PCR検査センター
運営委託
10,724千円

週1日、9月末まで医師
会に委託

- ② 唾液を用いた
PCR検査事業委託
16,179千円

休日応急診療所(**日・祝・年末年始**)にて医師が検査を要すると認めた方について各自採取した唾液検体を回収する事業を医師会に委託

- ③ PCR検査外来の
医療従事者支援
65,730千円

保健所の依頼で検査を行う協力医療機関等の従事者に**危険手当等**を支給(1~5件の検体採取で**1セット35,000円**)

- ④ 疑い患者用の
病床確保支援
178,125千円

- 検査後の体調悪化により入院が必要な疑い患者用の**病床確保費用**を協力医療機関に支給
(1日最大15床)
- 上記病床対応の医療従事者に**危険手当等**を支給(1床15,000円)

柱3 陽性患者の支援 【292,730千円】

- ① 入院患者移送委託
128,480千円

1,460件(見込)
※ 国が1/2負担

- ② 入院患者医療費の
公費負担
164,250千円

1,825件(見込)
※ 国が3/4負担

コロナ 対策

4月スタート！新型コロナウイルスワクチン接種

令和3年1月4日

新型コロナウイルスワクチン接種担当部を新設

国の動向を注視しながら、可能な限り早期に対応開始

接種に関する概要

区民への 接種目標

1年間で **35万人に2回、70万回分**

インフルエンザワクチン予防接種の接種率やワクチン接種に関する民間調査の結果を基に人口の5割と設定

会場 実施規模

集団接種の会場は **週40カ所** 開設予定

臨時会場は、区民の利便性を考慮し、かつ十分なスペースを確保できる区立小・中学校や地域体育館などで、各会場1日500回分の接種を想定

委託業務 内容

集団接種は **事業者へ委託**

接種開始当初は「集団接種」を業務委託で進める
徐々に個別接種（医療機関で実施）を拡大予定

足立区
医師会と
協議中

令和3年1月19日

第1回区議会臨時会

令和2年度補正予算可決

R2予算額： **198,320千円**

【補正の主な内訳】

■ ワクチン接種業務委託料	129,200千円
接種クーポン券印刷・封入封緘	
コールセンター運営	
ヘルプデスク運営	
予約システム構築 など	
■ 接種費用	43,000千円
■ 接種クーポン券発送経費	24,600千円
■ 物品購入費	1,520千円

1月28日
委託事業者と契約締結

令和3年度

接種費用については、令和3年第1回定例会で補正予算を計上し、70万回分の接種を目指す

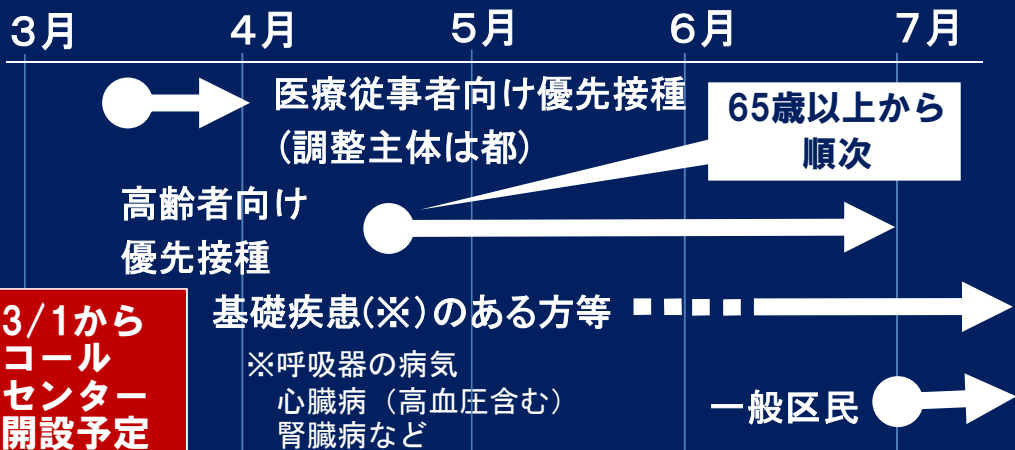
R2～R3の合計で
約37億円
を想定

コロナ 対策

4月スタート！新型コロナウイルスワクチン接種

今後の接種スケジュール

★医療従事者向け優先接種以外はワクチン接種の調整主体は区



区内の接種会場 割り当て表(イメージ)

会場	週	1週目			2週目			3週目			4週目			5週目			6週目			7週目			8週目			9週目			10週目			11週目			開設回数
	曜日	土	日	平	土	日	平	土	日	平	土	日	平	土	日	平	土	日	平	土	日	平	土	日	平	土	日	平	土	日	平				
1地区 小中学校	A校	●															●	●														4			
	B校	●	●														●	●														5			
	C校				●															●	●											3			
	D校				●	●														●	●											3			
	E校							●															●	●								3			
	F校							●	●														●	●								3			
	G校										●														●	●						3			
	H校										●	●													●	●						3			
	I校													●											●	●						3			
	J校													●	●											●	●					3			
	センター	固定			●			●			●			●			●			●			●			●			●			●	11		
	会場数		4			4			4			4			4			4			4			4			4			4			44		

国によるワクチン
確保（イメージ）

ファイザー社製(1.44億回分)

取扱いが難しい

比較的
容易

アストラゼネカ社製(1.2億回分)
武田/モデルナ社製(5千万回分)

令和3年4月

令和3年X月

令和4年3月

区のスキーム
(イメージ)

集団接種: 22万人(44万回)

小・中学校や地域体育館で接種

個別接種: 13万人(26万回)

↓徐々にシフトを想定

足立区医師会と調整・準備

各医療機関で接種

土日は学校、平日は地域体育館
などを使い集団接種を行う
なるべく居住地に近い施設内
で、2回の接種を可能とする

※ 区内を10～14のエリアに分ける予定

乗り越え、そして踏み出す。

Get over and go beyond COVID-19

あ
だ
ち
か
ら

2

コロナ渦中にある 区内経済を下支え

- 製造業者向け支援策
- 飲食業・小売店向け支援策

経済対策

製造業者向けの支援策

足立から世界に挑戦！

専門家による伴走支援で
世界に通用する事業者創出へ

①海外販路拡大支援事業

海外文化や商習慣等に詳しい専門家が海外進出までの道のりをサポート

<予算額>
15,000千円

サポートの具体例

- ◆ 販売や商談等は現地パートナー等に協力を依頼
- ◆ 市場調査やテストマーケティングを通じて商品改善
- ◆ 海外の商談会・展示会に出展

②国内販路拡大支援事業

販路の専門家(バイヤー)と区内事業者をマッチングして販路拡大の機会を創出

<予算額>
13,000千円

専門家による支援の具体例

- ◆ 商品のデザイン、カラー、パッケージ等の改善
- ◆ 新たな販売先の提供、商談のアドバイス
- ◆ 参加事業者による展示販売イベントを開催

オンライン市場でも躍進！

③オンライン見本市出展助成

<予算額>
30,000千円

オンラインで開催される見本市や商談会等への出展経費を助成

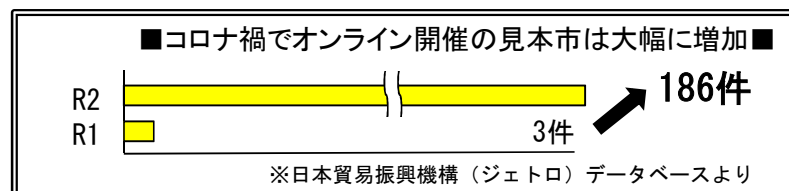
【補助対象経費】出展料、PR用動画作成費 等
【補助率】 2/3 【補助上限額】 75万円

④ECモール出店支援事業

<予算額>
6,240千円

ECモール出店までを専門アドバイザーが伴走支援
ECモールに出店する際の経費を助成

【補助対象経費】出店初期費用、HP作成費 等
【補助率】 2/3 【補助上限額】 60万円



地域の魅力を地域から！

⑤地域の見本市出展助成

<予算額>
3,000千円

身近な地域で開催する展示会やワークショップ等の開催にかかる経費を助成

区内の印刷業やイベント業等の支援にも繋がる

【補助対象経費】
広告宣伝費、印刷費(チラシ等)会場使用料、設営経費 等
【補助率】 2/3
【補助上限額】 10万円

感染予防のマニュアルを作成し、開催にあたっての感染予防対策を徹底

経済対策

飲食業・小売店向け支援策

サンマル

< 予算額 374,000千円 >

大規模な
商品券事業

あだち30買い物券 4月申込み 7月販売・使用開始

1 プレミアム率 30 %

1 セット6,500円分を5,000円で販売

2,500円分は、大規模店舗を含む全店舗

4,000円分は、中小店舗でのみ で使用可能

2 店舗数 2,000店 (予定)

通常の商品券事業の取扱い店

1,300店舗

今回の事業では

700店舗の増を目標

取扱い店舗
2月10日～
募集

3 足立区初 デジタル 商品券 発行

【デジタル券】7万5千セット 【紙券】7万5千セット



中小店舗中心支援で

区内経済活性化

使用期間：7月～12月

夏・冬の商戦時期に合わせて発行

新しい生活様式の実践

非接触型決済の推進

3

ICT活用で区民生活をより便利に

- オンライン申請システムを拡大
- オンライン区民相談を拡充
- 災害時の情報をリアルタイムで区民に提供

デジタル
行政

オンライン申請システムを拡大

5月プロポーザル
秋から運用

デジタル技術を積極的に活用することで、区民が行政サービスを便利に受けやすくします

予算額：40,000千円

足立区が目指す システムの 3つの特徴

① オンラインで手続きで
きる数を大幅に増加

BEFORE 64種 → 200種超 AFTER

申請手続数を23区トップレベルに

② 本人確認がスー
ズに

本人確認は、申請者の画像
と写真付きの公的身分証の
画像を送信

③ 必要な手続きを簡単
に検索

“子どもが生まれた”など
の申請者の状況を入力する
と必要な手続きを示す

eKYC (electronic Know Your Customer) の採用

オンラインで本人確認が可能な機能を追加

マイナンバーカードを持たない区民の方で
も、運転免許証やパスポート等公的身分証
明書があればオンラインでの手続きが可能

※ 住民票の写しの交付等、厳格な本人確認が法令等で
求められている手続きにはマイナンバーカードが必要

区民サービスの向上

土日や夜間など都合の良い時間に手
続きを終えられる
コロナを心配しながら外出する必要なし

今後は

業務も効率化

申請を電子データで受け取り、そのまま各業
務のシステムに取り込める

作業の省力化 → 新たな業務にも取り組める



オンライン化
による効果

デジタル
行政

オンライン区民相談を拡充

オンライン相談システムを拡充

BEFORE

2業務



AFTER

6業務

予算額：1,482千円

実施中（R2～）

①「消費生活相談」
（消費者センター）

②「中小企業相談」
（企業経営支援課）



ココが便利

～育児栄養相談の例～
家での自然な様子を見てもらえる。
外出準備の必要なし。

順次拡大（R3～）

●現在、対面で行っている相談がオンラインでも可能に！

③「法律相談」等
（区民の声相談課）

金銭問題、損害賠償等の
各種お困り事について、
弁護士がご相談に応じます。

④「育児栄養相談」
（各保健センター等）

お子さんの発育・発達・食事・
歯や口のケア等、専門職によ
る個別相談を行います。

⑤「保育施設入所相談」
（子ども施設入園課）

保育コンシェルジュによる、
保育施設の入所相談を行いま
す。

⑥「教育相談」
（こども支援センターげんき）

お子さんの教育に関するご相談
を、心理職の相談員がお受けし
ます。

デジタル
行政

災害時の情報をリアルタイムで区民に提供

令和4年度の本格運用に向けシステムを再構築し、災害時の対応業務の強化を図ります

令和元年台風第19号で見た課題

- 災害対策本部に届く情報が膨大なため、精査・登録など処理が遅くなってしまう
- 各避難所内の混雑状況などリアルタイムな情報が区民に届かない



システム導入後

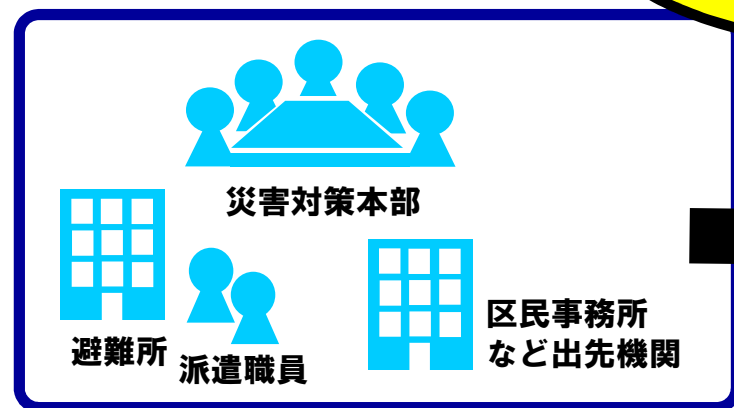
予算額：95,150千円

- クラウドサービスを利用
- 災害情報ポータルサイトの構築

システム導入後のイメージ

「区内の被害状況」
「避難所の状況」等を
現場からリアルタイムで更新

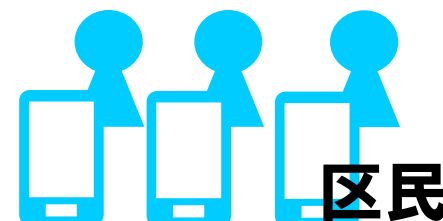
「区内の被害状況」
「避難所の開設・混雑状況」等が
地図上で一目でわかる



災害情報システム

クラウド

災害情報
ポータルサイト



乗り越え、そして踏み出す。

Get over and go beyond COVID-19

あだちから

4

あだちの子ども未来を応援

■「あだち子ども未来応援基金」創設

子どもの 未来応援

「あだち子どもの未来応援基金」創設

課題①

子どもを支援する活動への継続した 助成制度がない

- ◆ 団体への活動支援助成は、開始時か同一事業3回まで ⇒ 活動費確保が困難
- ◆ 団体数は増えているが、地域に偏りがある
- ◆ フードパントリーへの継続的支援策がない

令和3年
3月創設

基金を活用して、支援制度をスタート

安定的な活動への支援

学習支援、居場所、経験・
体験、子ども食堂、
フードパントリーを実施する
団体に対する活動助成

200千円（上限）
×40団体

予算額：
8,000千円

課題②

児童養護施設等を巣立つ若者が、 一人暮らしを始めるためのお金に苦労

- ◆ アパート契約や電化製品購入など55万円程度必要（区積算）
- ◆ 親からの支援が受けられない子どもが多い
- ◆ 入所期間が短い場合など、自立するためのお金を貯められない子どももいる

施設等から巣立つ若者を支援

進学・就職して一人暮らし
をスタートする際の費用の
一部を支援！



200千円×25人

▷ 電化製品、生活用品のほか、進学
時の教材費や就職時のスーツ代など

予算額：
5,000千円

乗り越え、そして踏み出す。
Get over and go beyond COVID-19

あ
だ
ち
か
ら

5

性の多様性を尊重する 社会の実現に向けて

■ パートナーシップ・ファミリーシップ制度のスタート

パートナーシップ・ファミリーシップ制度のスタート

R3年2月要綱制定

足立区パートナーシップ・ファミリーシップ
の宣誓の取扱いに関する要綱

R3年4月1日施行 予定

■ パートナーシップ・ ファミリーシップ宣誓を 区が受領したことを証明

■ 戸籍住民課で受領証明書を発行

■ 性別対象要件

- ①戸籍上の同一性の方
- ②戸籍上の性に関わらず、
自らが認識する性がパート
ナーと同一である方

ファミリーシップ制度導入は 全国2例目で都内初！

■ 宣誓者の双方または一方と生計
を同一とする**未成年の子ども**
がいる場合は、記入するこ
とで併せて宣誓可能に

15歳になると、証明
書からの氏名削除
の申立てが可能

＋ 「足立区営住宅条例」改正を第一回定例会に上程
→ **同性パートナーの区営住宅入居を可能に**

＋ 「足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則」を令和3年3月までに改正予定
→ **区職員の「慶弔休暇」等の取得対象に同性パートナーを追加**

不動産業界や医療機関等の
外部関係団体に対し、制度への
理解・協力を求めている

保育園・幼稚園や小中学校等の
教育・保育施設に対する周知

職員対応指針の策定

「(仮称) 足立区LGBTガイドライン」

R3年3月策定 (予定)

職員が多様な性について正しい知識を
持ち、当事者に対する適切な接客や接
遇のスキルを身に付けるため策定

- 窓口や学校での想定ケースを例示
- 区内企業でも活用いただけるように
区HPに掲載
- 当事者支援団体による監修(予定)

乗り越え、そして踏み出す。
Get over and go beyond COVID-19

あ
だ
ち
か
ら

6

高齢者事業の見直しと再構築

■「生きがい奨励金」の見直しによる高齢者事業の拡充

高齢者の
健康応援

高齢者事業の見直しと再構築

生きがい奨励金

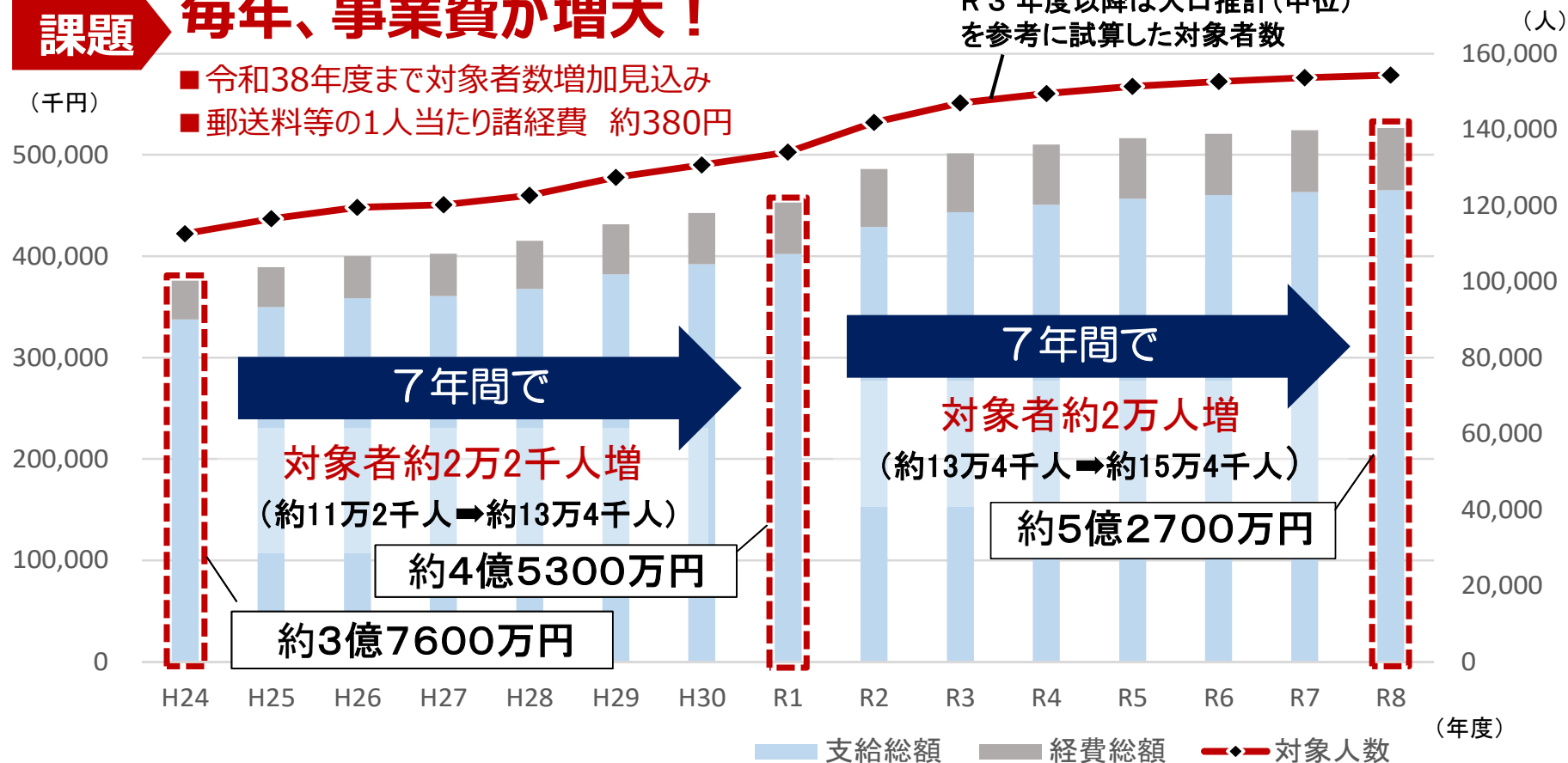
生涯を通じて自らを高め、健康で充実した人生を送るために、
70歳以上の区民を対象に3,000円分の商品券を配布(平成2年度事業開始)

課題

毎年、事業費が増大！

- 令和38年度まで対象者数増加見込み
- 郵送料等の1人当たり諸経費 約380円

R 3 年度以降は人口推計(中位)
を参考に試算した対象者数



平成24年度～
令和8年度の
14年間で

対象者数は
約42,000人
約37% 増

事業費総額は
約1億5100万円
約40% 増

※いずれも見込み

高齢者の
健康応援

高齢者事業の見直しと再構築

令和3年度
生きがい奨励金を見直し
約4億5300万円
(令和元年度決算額)

高齢者事業を
再構築

再構築のポイント

- 「健康を守る」
- 「生活を守る」
- 「生きがい支援」

拡
充
額

計
約
3
億
円

高齢者インフルエンザ
予防接種
無料化対象を拡大

75歳以上→65歳以上に
対象者約76,000人増

予算額 約1億3千万円 拡充

紙おむつの
支給要件を緩和

要介護3以上→要介護2以上に
約12,000件増加見込み

予算の組み
替え分を含む 予算額 約1億2千万円 拡充

敬老祝い金の
対象を拡大

88歳・99歳＋喜寿（77歳）に
対象者約8,000人

予算額 約4千万円 拡充

元気応援ポイント交付金の
交付上限額を引き上げ

5千円→1万円に
予算額 約700万円 拡充

乗り越え、そして踏み出す。

Get over and go beyond COVID-19

あ
だ
ち
か
ら

7 バス路線検証運行と はるかぜ車両購入補助

- 交通不便地域の解消に向けたバスの検証運行
- バス購入費補助による「はるかぜ」の運行本数の維持

交通不便地域の解消に向けたバスの検証運行

花畑周辺地区における課題

- 足立区総合交通計画に基づく、交通不便地域の解消
- 花畑周辺地区は、日常の移動に関する不便感が強いというえ、他の地域と比べ高齢化率が高い

花畑周辺地域のバスの検証運行（社会実験）に着手

運行期間	運賃	運行本数
R3夏頃～ 1年間 (予定)	大人 220円 小人（小学生）110円 ※シルバーパス利用可	1時間に2本程度 ※概ね6時～21時で運行

検証運行で、1年間の**収支率**(※)が
24%以上を確認できれば、
本格運行に移行します。

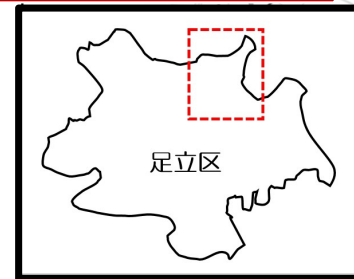
※収支率：バスの運行経費に対する
運賃等の収入の割合

【R3・R4事業費計】 150,040千円

- R3：検証運行に伴うバス停整備
(約20箇所、約300m間隔) 25,200千円
- R4：検証運行に伴う運行経費
車両4台分経費(5年分割) 103,800千円
21,040千円

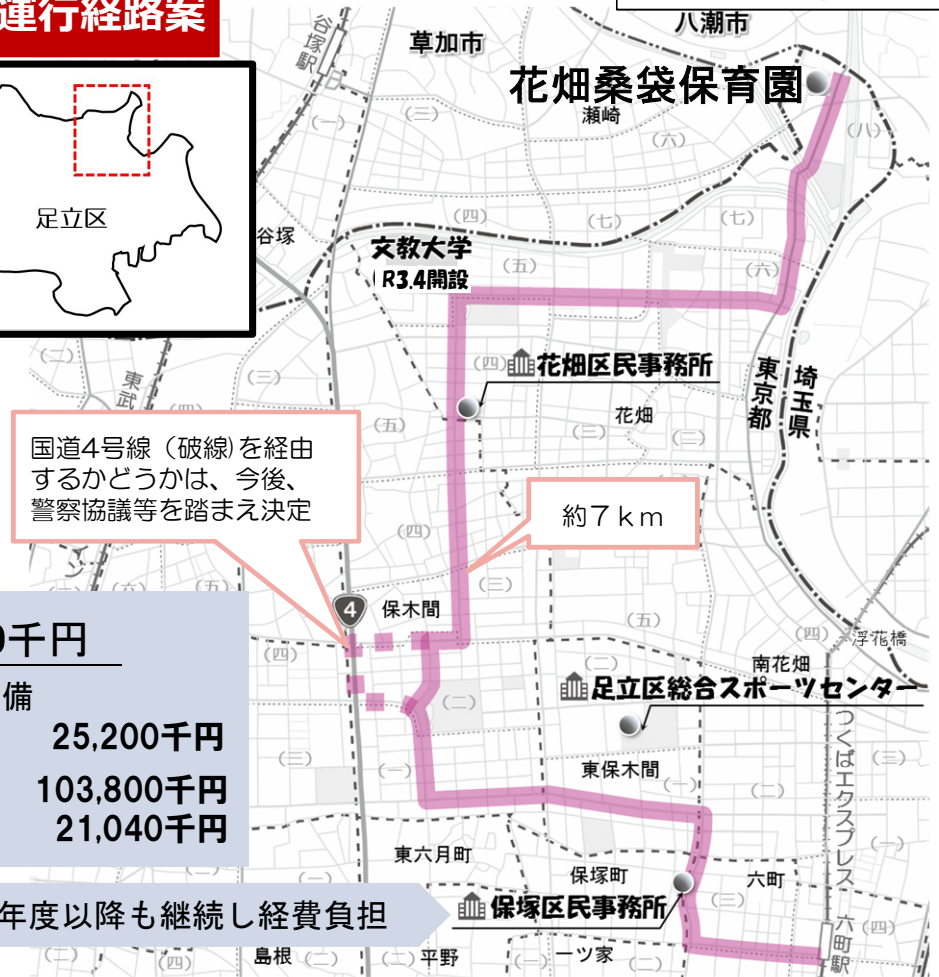
➡本格運行に移行した場合、R5年度以降も継続し経費負担

バスの運行経路案



国道4号線（破線）を経由
するかどうかは、今後、
警察協議等を踏まえ決定

運行距離約 7 km



バス購入費補助による「はるかぜ」の運行本数の維持

コミュニティバス「はるかぜ」の現状

- 区内で **12** 路線（1号～12号）、バス事業者 **5** 社が独立採算で自主運行
- 区は、停留所設置など利用環境整備費を負担
- 近年、乗降数減少や運転手不足、車両の老朽化による廃車等の理由により、「はるかぜ」の減便が頻発

【条件】補助路線は以後5年間の減便を行わない

営業係数(※)が100を超えている路線に
区が車両等購入費を補助(夏頃開始)

※営業係数: 100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値

「はるかぜ」の運行路線・本数の維持

区民の交通手段の確保による地域活性化

車両等購入費の補助内容

【予算額】 **118,080** 千円

(19,680千円/台 × **6** 台分)

※車両本体等の購入費 26,240千円/台 × 補助率 **3/4**



【対象経費】

- バス車体
- 内装・外装費用
- 車載設備（ドライブレコーダー等）
- 予定路線：1号(西新井・綾瀬線)、2号(綾瀬・六木線)
9号(青井・亀有線)、12号(西新井・亀有線)

乗り越え、そして踏み出す。
Get over and go beyond COVID-19

あだちから

8

令和3年度 エリアデザインは1つのピークへ！



- 綾瀬
- 花畑
- 江北
- 竹の塚
- 六町

エリアデザイン計画策定
文教大学東京あだちキャンパス開設
東京女子医科大学附属足立医療センター開設
悲願の踏切解消へ
(仮称)六町駅前安全安心ステーション開設

エリア
デザイン

エリアデザイン計画策定

2021年度

綾瀬



Area Design
Promotion Headquarters

まち×デザイン=未来



令和3年度エリアデザイン計画策定予算額：10,890千円

東口に交通広場用地取得を目指す!!

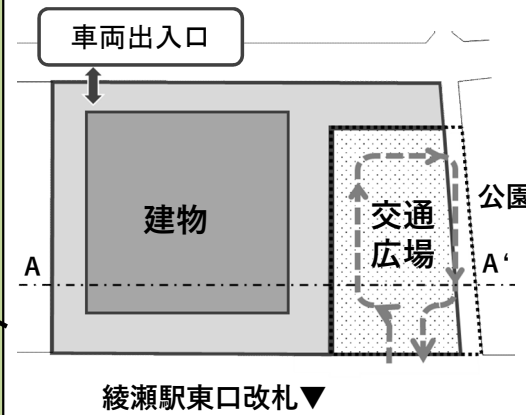


綾瀬駅

綾瀬駅前の現状

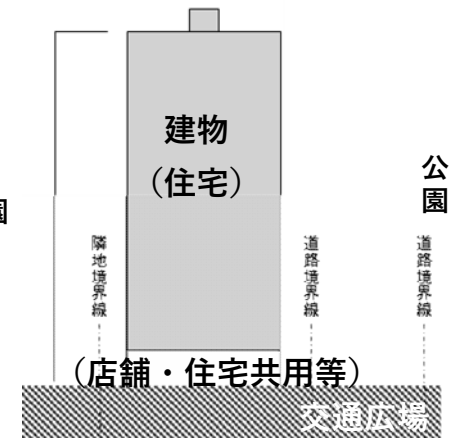
令和3年度に足立区土地開発公社
にて交通広場用地の取得を目指す

配置図



綾瀬駅東口改札▼

A-A'断面イメージ



広場面積：1,493m²
(うち用地取得面積1,288m²)

高さ：110m程度
(塔屋を除く)

2020.9.15確認書より▲

エリア内のさまざまな
変化を計画策定にまとめ、まちの魅力を高める!!

エリア
デザイン

文教大学東京あだちキャンパス開設

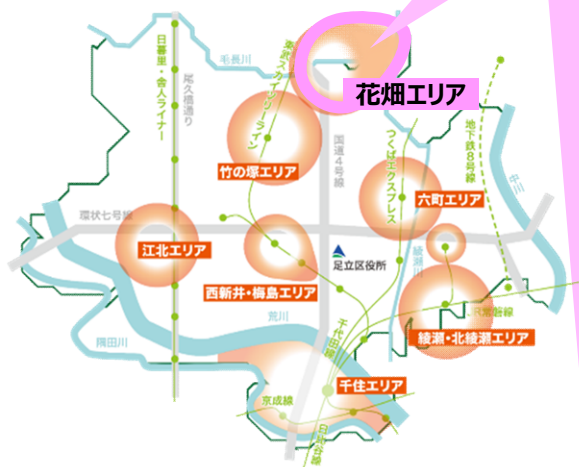
2021年4月

花畑



Area Design
Promotion Headquarters

まち×デザイン=未来



区内 **6** 校目開設!!

大学周辺の環境整備!!

令和3年度予算額:694,100千円
((仮称) 花畑人道橋整備工事425,500千円他)



親水拠点工事状況



文教大学東京あだちキャンパス



国際学部・経営学部 計約**1,800**人

エリア
デザイン

東京女子医科大学附属足立医療センター開設 2021年度内

江北



Area Design
Promotion Headquarters

まち×デザイン＝未来

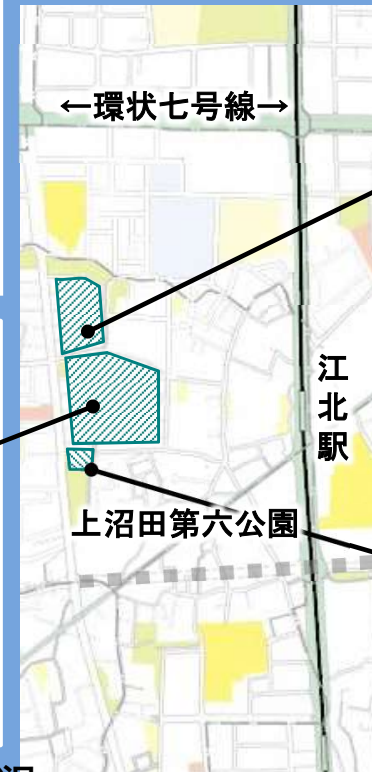


区内 **初** 大学病院開設!!

病院を核にした健康なまちへ!!



東京女子医科大学附属足立医療センター工事状況



令和3年度予算額: 5,058,329千円
(大学病院整備補助金45億円含む)



(新) 江北小学校完成イメージ



バス転回場工事状況

エリア
デザイン

悲願の踏切解消へ

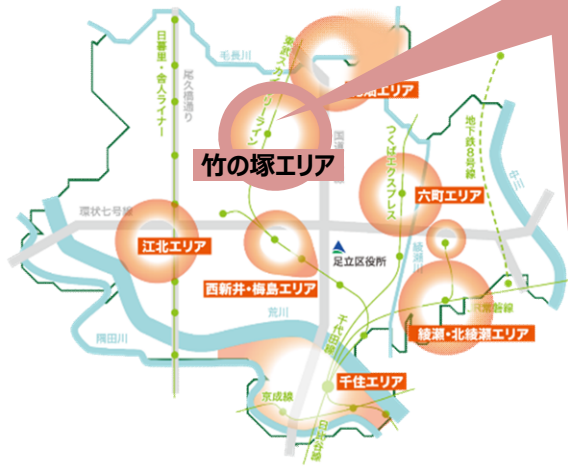
2021 年度末

竹の塚



Area Design
Promotion Headquarters

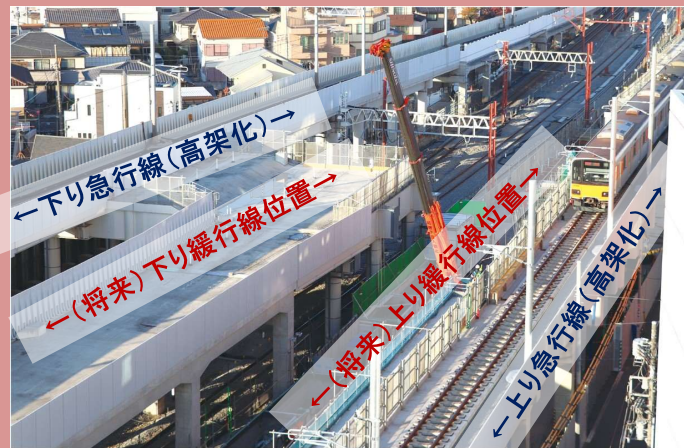
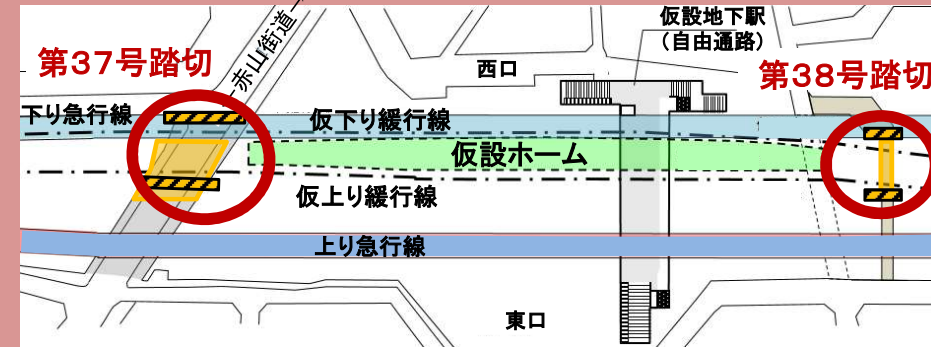
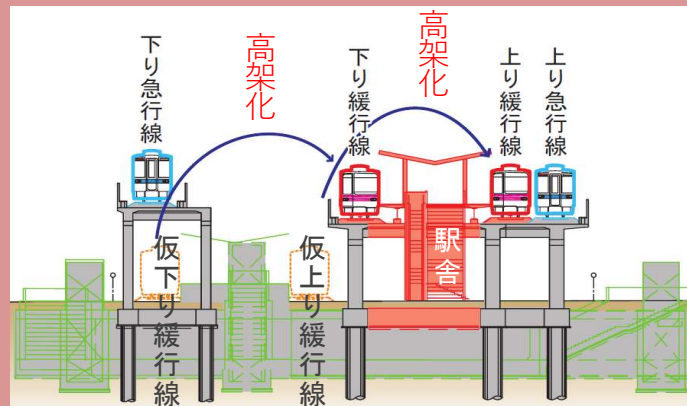
まち×デザイン＝未来



上下緩行線の高架化!!

開かずの踏切²カ所解消!!

令和3年度高架化予算額: 5,943,900千円



鉄道高架化工事状況

新駅舎のイメージ



新駅舎も
開設!!

計画策定で

ドラスチックなまちづくり!!

令和3年度エリアデザイン計画策定予算額: 8,063千円

エリア
デザイン

(仮称) 六町駅前安全安心ステーション開設 2021年11月

六町



Area Design
Promotion Headquarters

まち×デザイン=未来



区内 **初** 民間 交番開設!!

安全安心なまちに!!

令和3年度工事関連予算額: 103,615千円



愛称名
令和3年3月
決定!



地域防犯活動準備

(仮称) 六町駅前安全安心ステーションイメージ

- ・ 土壌汚染対策後のモニタリング調査
→ 1年間調査結果“基準値クリア” (調査期間2年)
- ・ 調査完了の令和4年3月以降に事業者公募

駅前の区有地活用を検討!!

令和3年度VR作成予算額: 7,346千円

乗り越え、そして踏み出す。
Get over and go beyond COVID-19

あ
だ
ち
か
ら

9

足立区独自のシティプロモーション その成果が本になる

■ 2021.2下旬 ビフォー・アフター本が出版

2,200円
(税別)
1,500部
発行

住民の心をつかむ

自治体チラシ

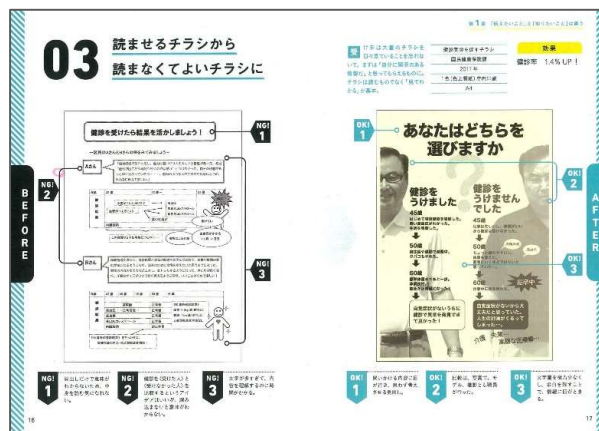
仰天! ビフォーアフター

足立区シティプロモーション課 [著]

ちょっとの工夫で
ありきたりの一枚が
劇的に変わる!

チラシ、
ポスターなど
实例
満載!

学陽書房より刊行



始まり
beginning

平成22年にイメージアップの専管組織
「シティプロモーション課」を23区で初めて設置

継続
continue

「職員一人ひとりがシティプロモーター」を目指して、
チラシ・ポスターを徹底的にブラッシュアップ

ビフォー・アフターを用いた研修などを、延べ40回開催、約700人の職員が受講

足立区独自の
プロモーション戦略
全国にPR
public relations

積み重ねてきた成果を
書籍として出版

2月下旬から
販売開始予定